

開校3周年を迎えました。

はじめまして。知求塾塾長の野呂と申します。これまで全日制高校・フリースクール・ウガンダ共和国の小学校・そして大手学習塾とさまざまな形で教えるという仕事をしてきました。知求塾としても、開校して3年が過ぎ4年目を迎えました。

これまでに、勉強嫌い・苦手な生徒のみならず、本当に様々な境遇の子どもたちと関わる機会があり、その子その子に合ったやり方と、本来理想とする教育を探りながら、共に成長してきた道のりだったと思います。

特に勉強嫌い、苦手だった生徒が、自らのために一生懸命勉強するようになり、自身をつけて次のステージへ送り出したことが私の誇りです。

成熟社会・人生100年の時代を生きる子供たち

改めて知求塾の存在意義を考えてみました。

教育とは、この子たちがどんな時代に生き、どんな人生を送るのか？を考える仕事。

塾の経営者が大声では言えませんが、教科の点数を上げて、世の中で活躍できるかは未知数。テスト前に付け焼き刃で詰め込んだ知識は、すぐに忘れて使い物にならなくなる。

20、30年先を見た長期的な学力、能力を身につけるには、物事に疑問を持ち、その疑問に対してじっくりと腰を据えて考えるやり方でないといけない。

しかし若い頃に放っておいて何かを主体的に学んでいくのは容易ではないので、一方では多少の詰め込み型だとしても教育は必要と考えます。

若いときにとにかく勉強する、1冊でも多くの本を読み、さまざまなことに興味をもつ、いろいろなことについて考えてみる。

多感なときに受けた刺激、体験した面白さは、形を変えることはあったとしても、一生心に残る。受験のための詰め込み教育は問題外、でも教養の詰め込みと考えれば視点は違ってくるのかと。

子どもに対して「国語力は大事だ」ということを言ってみたところでどうしようもない。

自然にそういったことがわかる、感じられるように持っていくのが教育者の仕事、大人の役目。

生徒の心に生涯残って、生きる糧となる教育がしたい。

自分自身のための教科書をつくるつもりで勉強に取り組むよう支援していく。

もちろん塾人として全力で。結果にこだわり、成績を上げて自信を持てるようにします。

教育の本質を考える

つめこみ・やらせる というのは最小限に。

楽しくて自分から学び出すように仕向けていく。

これまでの3年間で見てきた生徒像というのは、

好きなことには夢中になれるのに、勉強となると嫌々やっている。

学ぶという義務を、遊ぶという気持ちに切り替えられれば、子供たちは進んでまなぶことに参加するようになるこれを大人が教えてあげなければならない

子どもたちが遊ぶような感覚で学んでいけるように仕向ける
そうすれば、放っておいても自分の思いのままに進んで行くことができると思います。

親のお子様に対する愛情

私自身2児の父として、育児に携わる父親として、親の子に対する愛情の深さを日々感じています。我が子には幸せになってほしい、そのための成長を願う心とは裏腹に、自立_心が芽生え、親密に関わるべき時期を過ぎて、時に反抗しながらもどんどん成長していく。そんな大切な時期を過ごすお子様を、お預かりする仕事をさせていただいています。

これからもより一層、気を引き締めて、全力で子どもたちに関わらせていただき、健やかな成長と、夢を叶えるお手伝いをしていきたいと考えております。
改めてこのような想いを書き出すことで、初心を振り返る機会となりました。

長文にて失礼いたしました。ご拝読ありがとうございました。
今後とも知求塾の教育活動に、より一層のご支援とご理解を宜しくお願い申し上げます。

知求塾代表 野呂

「新中3」定員まであとわずか

「小学生・新中1・新中2」積極募集中

個別指導塾の中ではかなりリーズナブルに頑張っておりますが、その教務スタイルに対して相性の問題はあると思います。そのため無料体験を随時行なっております。

広告宣伝が弱く、サービス内容は公表していませんでしたが、
1：3の少人数個別指導コースや理社国、英語長文読解コースなど、
さまざまな取り組みがございますので、
ご興味がある方は下記にお問い合わせください。
問い合わせは土日祝を含めて年中無休で、10:00～22:00に対応しております。

人との出会いは奇跡であると同時に必然でもあると思っています。
素敵なお子様との出会いを、楽しみに待っています。